

# 8班

## 個別指導 マッチングシステム

AL22099 森岡つおい      AL22084 中橋哉斗

AL22086 西垣克俊      AL22043 吉田聖

AL22079 佐野有紀      AL22020 伊藤柊生



# 個別指導マッチングシステムの紹介

概要とデモンストレーション

# 目的

1. 生徒の**成績**向上
2. 講師の**労働満足度**の向上
3. 塾の**営業成績**向上

大規模な個別指導塾



# ユーザーと用途

3つのタイプのユーザーが使用するアプリケーション

生徒



講師



塾長



# ユーザーと用途

生徒と講師のプロフィールを入力することで...



最適な組み合わせを提案

# ユーザーと用途

生徒と講師の最適な組み合わせを実現することによって...

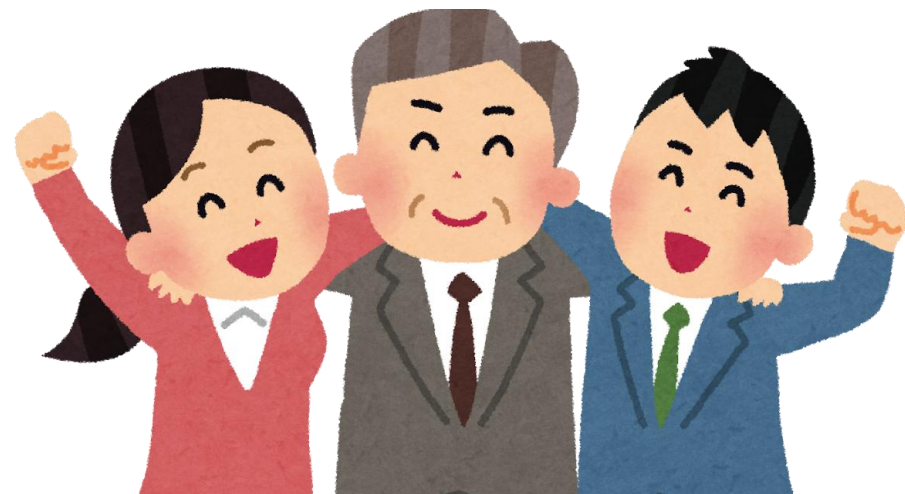
学習成績向上




従業員満足度の向上



評判や生徒数の増加



# デモ動画



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying "127.0.0.1:5000". The page has a dark gray header with the text "個別指導塾マッチングシステムにようこそ" (Welcome to the Individual Guidance Tutor Matching System) and a green button labeled "新規登録" (New Registration). Below the header, the word "ログイン" (Login) is centered. There are two input fields: "メールアドレス" (Email Address) and "パスワード" (Password). Below these fields, there are three radio buttons: "● 生徒用" (Student Use), "○ 講師用" (Teacher Use), and "○ 管理者用" (Administrator Use). At the bottom, there is a green button labeled "ログイン" (Login) with a hand cursor icon pointing to it.

127.0.0.1:5000

個別指導塾マッチングシステムにようこそ

新規登録

ログイン

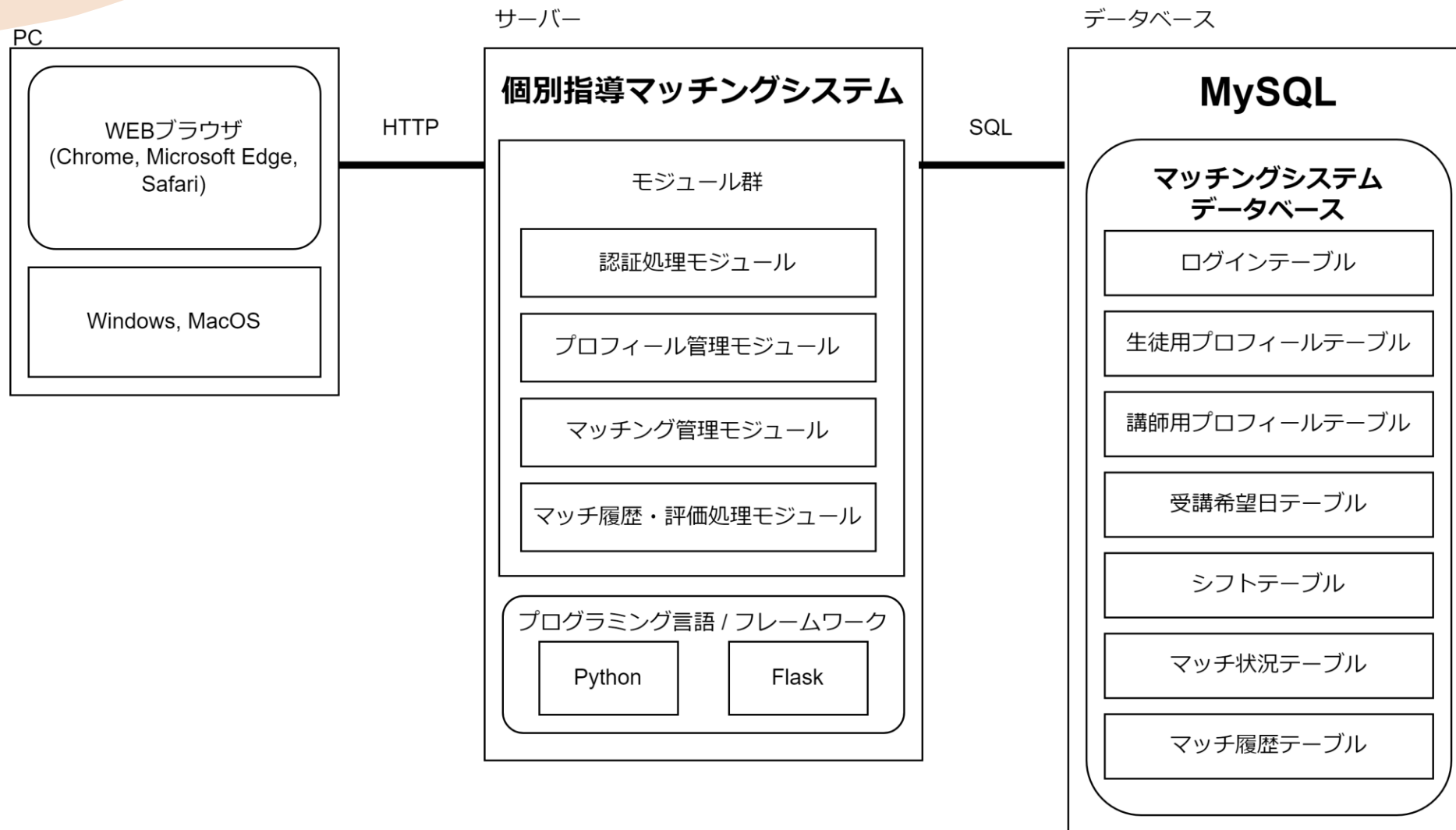
メールアドレス

パスワード

● 生徒用 ○ 講師用 ○ 管理者用

ログイン

# システム構成





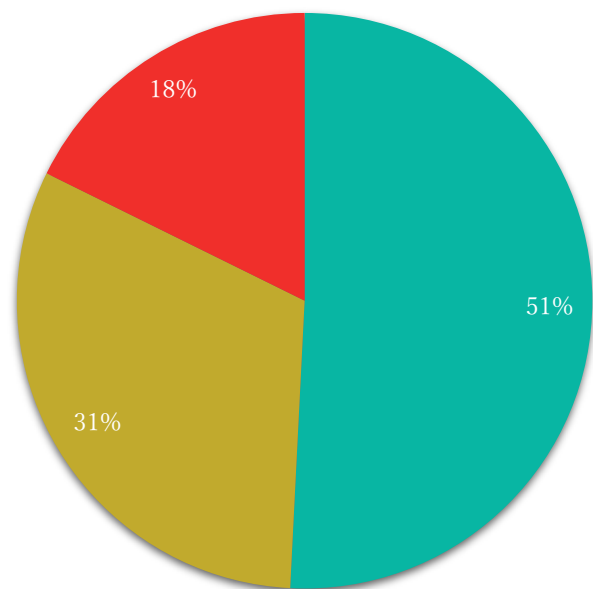
# システム開発実績の報告

メンバーの役割とチームの実績

# 開発言語と規模

- 開発言語：Python, HTML, CSS

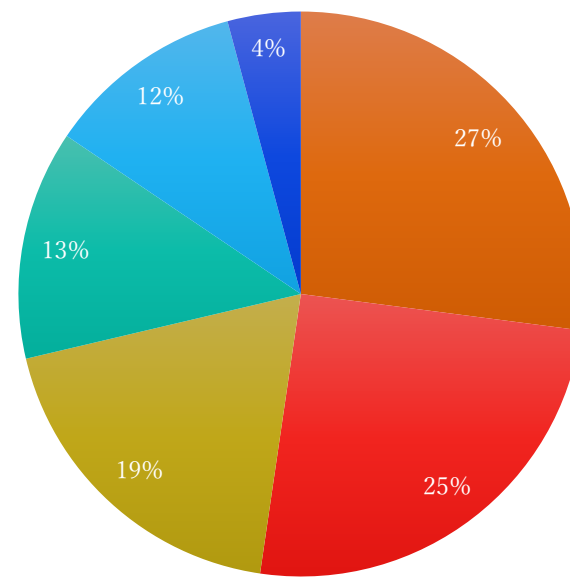
開発言語の割合



■ Python ■ HTML ■ CSS

- 開発規模（行数）：2772行

実績行数



■ 森岡 ■ 佐野 ■ 吉田 ■ 伊藤 ■ 中橋 ■ 西垣

# メンバーの役職と貢献度

## メンバー紹介

**森岡 つおい**

リーダー/技術リーダー/  
モジュール全般担当

**中橋 哉斗**

技術リーダー/モジュール全般担当/  
受入れ担当

**吉田 聖**

マッチングモジュール担当

**西垣 克俊**

マッチングモジュール担当  
/受入れ担当

**佐野有紀**

全体デザイン担当

**伊藤 柊生**

モジュール全般担当

# メンバーの役職と貢献度

## 設計書類やプレゼンの貢献

要求仕様書	ユースケース図	森岡つおい
	画面イメージ	森岡つおい
	ユースケース記述	森岡つおい
外部設計書	システム・ソフトウェア構成図	森岡つおい
	シーケンス図	西垣克俊 吉田聖
	コンポーネントの機能説明	チーム全体
	インタフェース仕様	西垣克俊
	画面遷移図	伊藤柊生
	データ仕様	伊藤柊生

# メンバーの役職と貢献度

## 設計書類やプレゼンの貢献

内部仕様書	モジュール構成図	森岡つおい
	画面エラー処理	佐野有紀
プレゼン資料作成	モジュール仕様	チーム全体
	パワーポイント	森岡つおい 西垣克俊
	動画作成	佐野有紀

# メンバーの役職と貢献度

## 技術リーダーの貢献度

技術リーダー：中橋50% / 森岡50%

中橋：開発前半での使用する言語とフレームワークの提案  
git運用方法の共有、マージを担当した。

森岡：データベースの定義

コード全体のチェックと開発後半でのマージとサーバー運用を担当。

# 総合テスト/受入れテスト

不具合内容と振り返り

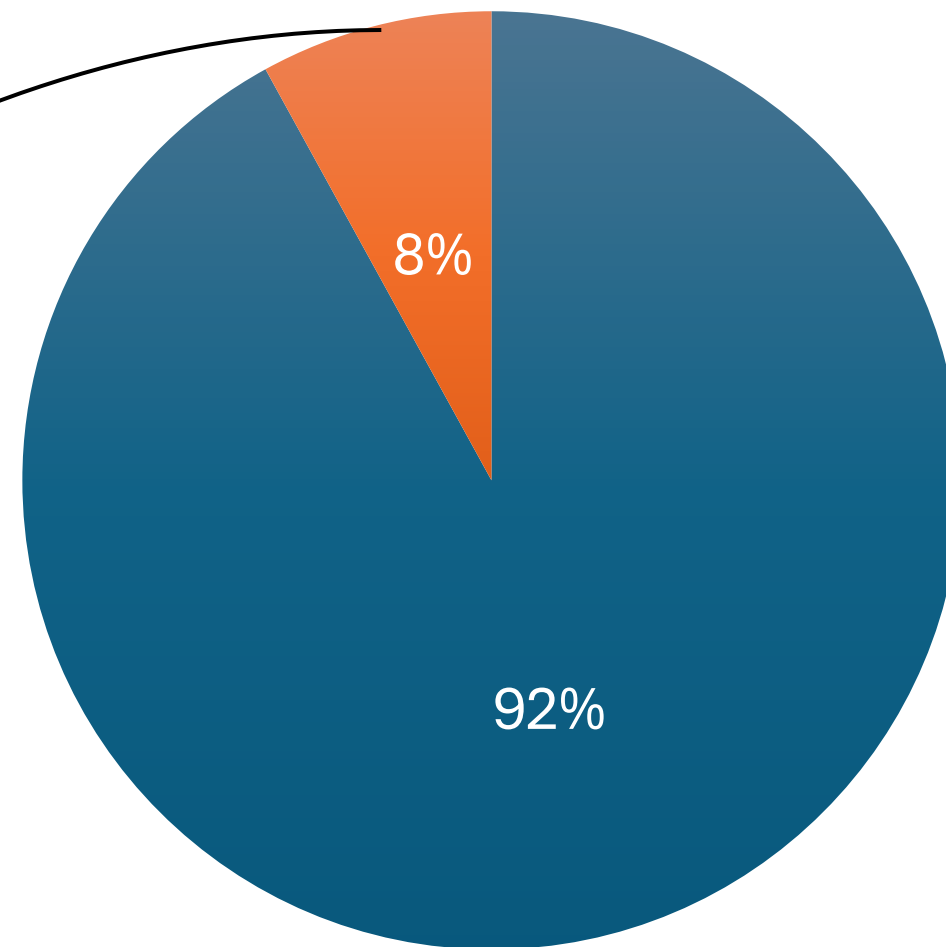
# 総合テスト

テストケース数：25件

検出した不具合件数：2件

マッチングモジュールの入出力  
に関する不具合

テストケースと不具合数の割合



■ 正しく動作したケース ■ 不具合数



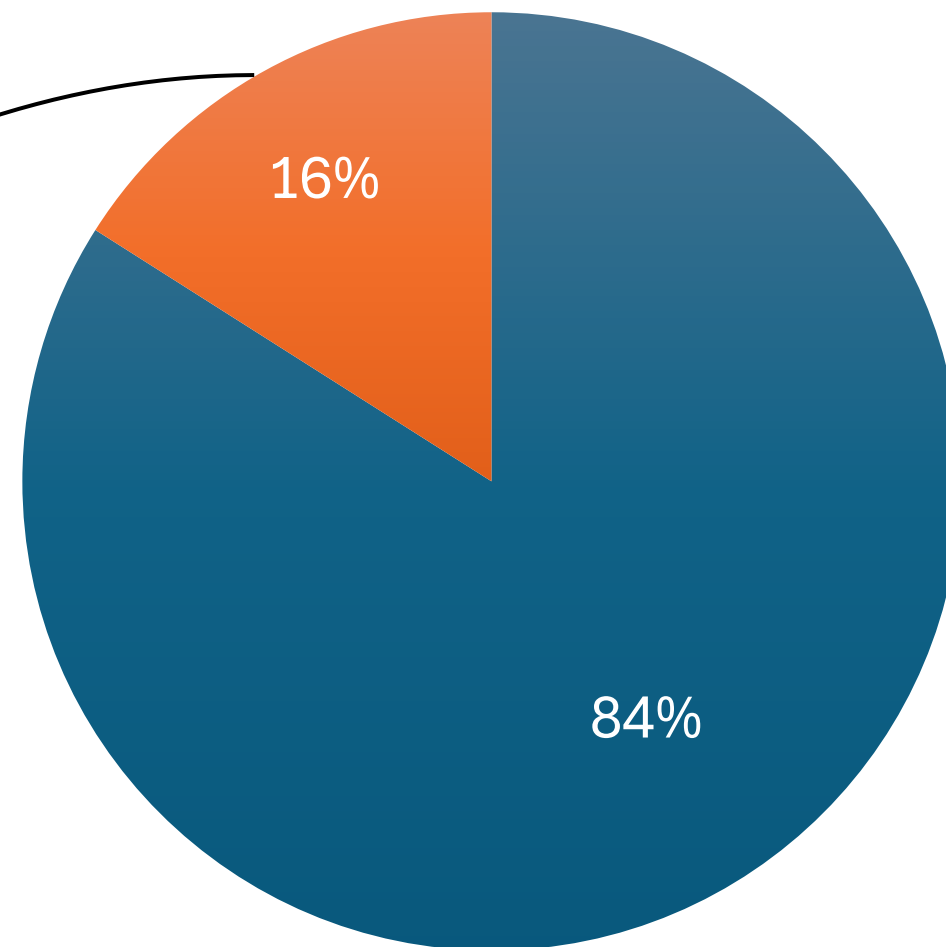
# 受入れテスト

テストケース数：31件

検出された不具合件数：5件

予期せぬ画面入力による  
不具合が80%を占めた

テストケースと不具合数の割合



■ 正しく動作したケース ■ 不具合数

The background features a stylized illustration of two hands, one in the upper left and one in the lower right, both reaching towards the center. The hands are rendered in a light peach or tan color with soft, painterly edges. The overall composition is clean and minimalist, with a white background.

# 開発メンバーの声

苦労した点・感想

# AL22084 中橋哉斗

- 苦労した点

仕事の割り振りやコードレビューなどの進捗管理全般

- 理由

GitHubの不慣れにより、コードレビューやgit関連のエラー解消などに時間を多く取られてしまった。  
班員の制作物へのイメージが異なるケースが何度かあり、作業定義も曖昧だったため仕事を割り振った後に作業内容に関して確認する時が多々あった。

- 反省点

仕事の割り振り方や作業見積もりが甘かったため最終的に期限後半で班員の負担が増えてしまったため、もっと細かく見積もりを行い、厳密に作業定義を決めるべきであった。

- 感想

共同作業やアプリ開発、FlaskやMySQLの使用など初めてのことであったが、今の自分にとって必要な経験をたくさん積むことができた。今後の活動に活かしていきたい。

# AL22086 西垣克俊

## ～苦勞した点～

- ・ マッチングモジュールの開発

現役塾講師として、

実際のニーズに合った実装内容を考えた点

## ～反省・感想～

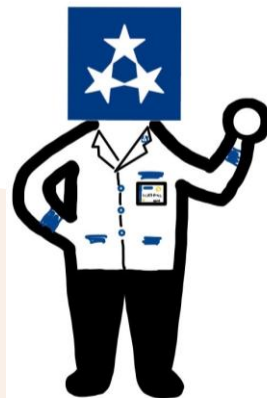
複数人でプログラムを開発し、アプリを作り上げることの難しさ、大変さを学びました。

次から次へと出てくる問題に対処することは簡単ではありませんでしたが、原因を分析し、対処する力を身につけられたことはとても大きな学びとなりました。

また現役塾講師としても、生徒と講師のマッチング方法について改めて考え直す機会となりました。

実際の現場では教室長の裁量もしくはリーダー講師が担当決定までの講師のアサインを行っております。長年の勘だけではなく実際に個人のデータをもとに、根拠を持ってマッチングを行うことの大切さを感じました。

東京個別指導学院のリーダー講師として、今後の教室運営に何らかの形で活かしていきたいと感じました。



# AL22079 佐野有紀

## ・ 苦労した点

私は今回コーディングにおいて、レイアウトを中心に作成してきましたが、どのようなレイアウトにすればユーザーに分かりやすいかなどを考え、何度もやり直しをしてきました。最終的には班のみんなに評価を受けながら改善することができました。

## ・ 感想

初めてのグループ開発でしたが、チームの団結力が成功の鍵となりました。授業時間外でのミーティングを重ね、この経験は今後の社会で役立つと思います。

# AL22020 伊藤柊生

## 苦労した点

mysqlをチーム内で共有するための構築をすること

→その理由として、データベースというものの自体何一つ知らなかった自分 として  
は、データの操作以外の面だと、データベースとは得体の知れないものであり、理解  
をするのに非常に時間がかかったから。

## 感想

必要になったテーブルをその段階で即座に共有していくという流れは非常によかった。

またそれらがアプリの完成までの道のりがある程度明確になったきっかけのひとつに  
なったとおもい、よかった。

# AL22043 吉田 聖

- 苦労した点

設計書などの提出資料

→このアプリがどのような設計をしているのか詳しく考える必要があったから

- 反省点

コミュニケーション不足によるアプリへのイメージ相違

- 感想

アプリ開発未経験者6人でよくゴールまでもってけたと思う

また、各自それぞれ必要な知識を学べた

# AL22099 森岡つおい

- 苦勞した点

アプリケーション開発の右も左も分からないままリーダーを務めたこと

- 理由

メンバーに明確な指示出しをするのが難しく、そのうえで自分の作業も両立しないといけなかったから。

- 反省点

目の前の作業に集中してしまいがちだったが、常に今後必要な技術や作業を見据えて開発をするべきであった。それでも分からないことはあっただろうからタスクの割り振りとチェックをさらに早くして不確定要素を減らしていくべきであった。

- 感想

開発を進めていく中で多くの困難に見舞われたがなんとか乗り越えることができた。メンバーとのコミュニケーションと信頼関係がプロジェクトを成功させる大切な要素だと感じる授業であった。





個別指導マッチングシステムの  
プレゼンを終わります。

ご清聴ありがとうございました。